

# Project Report

低炭素社会づくりに向けた小水力発電への参入  
 新たなエネルギーマネジメント

## 次世代を担う新エネルギー

### 小水力発電へ参入

弊社では平成26年度の発電、売電を目指し、小水力発電事業に着手している。

再生可能エネルギーの中でも、豊富な水資源がある富山の小水力発電の潜在力は大きく、国の重点施策として可能性が見込まれる分野である。

また、平成24年7月からの「固定価格買い取り制度」施行により、設備導入時に一定期間の買い取り価格が保証され、再生可能エネルギーを用いたエネルギーマネジメント事業の収益性が飛躍的に高まった。

このような中、弊社事業は、富山県商工労働部経営支援課による「中小企業経営革新計画」の承認を受けた。本事業の特色は、民間資金を



中小企業経営革新計画承認通知書

活用し、官民が連携して再生可能エネルギー推進・普及を図っていくものであり、今後の事業推進のモデルになる取り組みであると考えている。

### 小水力発電事業の状況

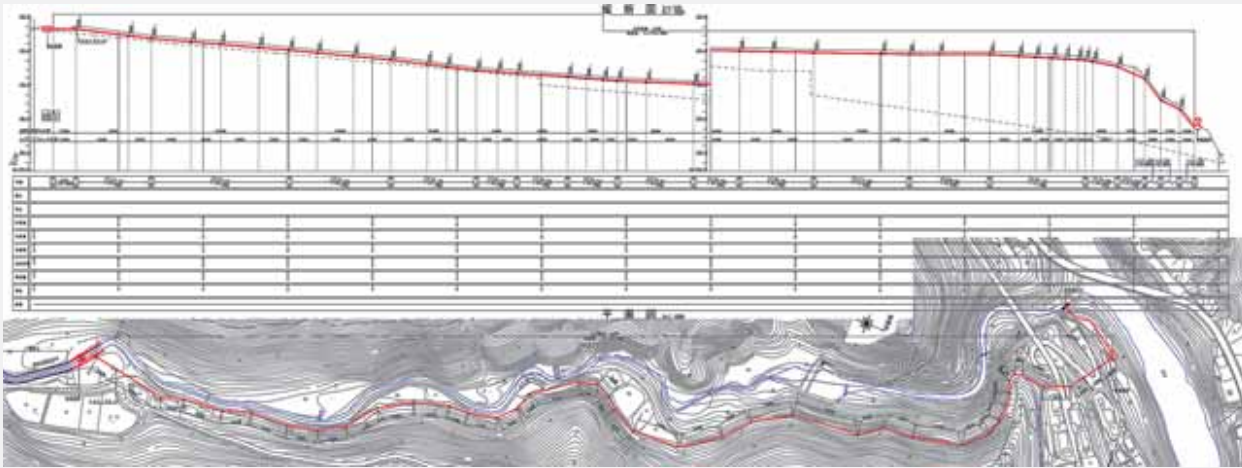
#### (1) 発電事業概要と進捗

本発電事業は、河川水を利用し、最大使用水量は0.5~1.0t程度を取水し、発電出力は想定400~600kW程度を得るものとして検討中である。導水管は、付近の市道に埋設し、発電後は元の河川に還元放流する計画である。

現在、河川水の流量変動確認のため、河川占用許可を得た上で流量観測を実施し、流量データを整備したところである。

合わせて、発電事業計画および現地測量・地質調査に対する地元説明を行い、調査実施について御理解を頂き、調査を実施・終了したところである。

今後は、基本設計を経て、経済性評価ができれば実施設計に進む予定である。



現在計画中の県内河川における発電所



計画地における住民説明会の模様

## (2)事業推進における課題に向けて

地元説明会では、現地における課題として以下の指摘を頂いた。

①現地地形に関する課題、②既設用水路の冬季取水量の確保、③既設用水路の維持管理・補修に関する課題、④騒音に対する対処、⑤発電所計画箇所の制約、⑥地権者調整等

また並行して、河川水利用における水利権申請に伴う課題や、系統連系における課題等、様々な障害が発生することが予想されるが、弊社は地元根ざしたコンサルタントとして、綿密な地元調整を図るとともに、総合コンサルタントとして、弊社の調査・測量・設計部門の持つリソースを結集させて、これらの課題解決に努めているところである。

## ● 来年度内定者

[質問] 1 出身地 2 出身大学・専攻  
3 趣味・特技 4 抱負・自己紹介など

### 藤原朱里 ふじわら あかり

- 1 富山県砺波市
- 2 金沢大学  
理工学域環境デザイン学類
- 3 音楽鑑賞、ピアノ



4 市森社長をはじめ、先輩社員の方々の、誇りとやりがいを持って仕事をされている姿にとっても魅力を感じました。同じ大学出身の方もたくさんいらっしゃるのでも、先輩方に習って、そして負けないように日々勉強し、技術者としても社会人としても成長していきたいと思っております。

### 鈴木 健 すずき けん

- 1 愛知県
- 2 名城大学  
理工学部 建設システム工学科
- 3 ドライブ、料理



4 多くの人々の生活を支えるために仕事をしているということを常に念頭に置いて、仕事をしたいと考えています。愛知県出身ですが、心機一転して頑張りたいと思っています。

### 金子裕美 かねこ ひろみ

- 1 長野県長野市
- 2 東京電機大学大学院  
未来科学研究科建築学専攻
- 3 バasketボール、散歩



4 建設事業の一連の流れに関わる建設コンサルタントの技術者として社会人のスタートが切れることを嬉しく思っています。多くのことを学び、たくさんの人の役に立つ設計に関わっていきたくと思っています。